

原発賠償京都訴訟 2016年活動報告

- 4月10日(日) 「これから私たちの裁判はどうなるのか」と題して原告団学習会(+総会、交流会)開催。原告(大人)19名と子ども8名が参加(キャンパスプラザ)
- 4月24日(日) 支援する会の第2回総会を開催(ハートピア京都)。3名の共同代表が決定。
◇石田紀郎さん(市民環境研究所代表理事)、◇平信行さん(京都「被爆2世・3世の会」代表世話人)、◇橋本宏一さん(日本国民救援会京都府本部事務局長)
「原発事故による低線量被ばくの健康被害を考える いのちと避難生活をまもる第5回京都公聴会」開催(うつくしま☆ふくしま in 京都との共催。ハートピア京都)約80名が参加。井戸謙一弁護士が「司法から福島原発事故・低線量被ばくを考える」と題して講演。
- 5月27日(金) 京都訴訟第14回期日。
- 5月30日(月) ひだんれん(原発事故被害者団体連絡会)と全国連(原発被害者訴訟原告団全国連絡会)の共同行動(集会&デモ&福島県申し入れ)に原告3名が参加。
- 6月29日(水) 京都訴訟第15回期日。報告集会後、原告・弁護士・支援者の交流会開催(原告6名、関西訴訟原告1名、避難者1名、弁護士3名、支援者8名、支援する会共同代表2名、事務局スタッフ5名の計26名が参加)。
- 7月 8日(金) ひだんれん、全国連の福島県交渉に原告3名と事務局スタッフ1名が参加。
- 7月31日(日) 「原発賠償訴訟の勝利をめざす原告と支援団体の全国交流会」(大阪)に原告5名参加。
- 8月 3日(水) 京都訴訟第16回期日。
- 8月 9日(火) ひだんれん、全国連の福島県交渉に原告2名が参加。
- 8月19日(金) 避難用住宅の無償提供打ち切りについて京都府と話し合い(「うつくしま☆ふくしま in 京都」主催)に原告・避難者5名(+子ども3名)、支援者8名(+子ども3名)が参加。
- 9月 4日(日) 原告学習会～本人尋問模擬法廷～(弁護士会館)が開催され、原告30名が参加。
- 9月 6日(火) ひだんれん、全国連の福島県交渉に原告2名が参加。
- 9月18日(日) 原発賠償近畿訴訟団第4回交流会開催(キャンパスプラザ京都)。第1部は京都訴訟の専門家証人・崎山比早子さんの「低線量被ばくによる健康被害」と題する講演。第2部はレセプション。3訴訟団から原告21名、弁護士16名、支援者37名が参加。
- 9月23日(金) 京都訴訟第17回期日。
- 10月24日(月) ひだんれん、全国連の福島県交渉に原告1名が参加。
- 10月30日(日) 大阪扇町公園で開催された団結まつりに「原発賠償京都訴訟の店」を出店。ちりめん山椒と日本酒を販売、会員100名の会費更新、公正判決署名集めを行った。原告5名と事務局スタッフ7名が参加。
- 11月 2日(水) 京都訴訟第18回期日。報告集会に三春町の写真家・飛田晋秀さんをゲストで招く。報告集会後に四条河原町マルイ前で街頭署名集めを行った。原告6名、ゲストの飛田晋秀さんを含め26名が参加。1時間で105筆の署名が集まった。
- 12月 7日(水) 京都訴訟第19回期日。報告会終了後に四条河原町マルイ前で街頭署名集めを行った。原告2名、支援者16名が参加。1時間で158筆の署名が集まった。
- 12月14日(水) 第20回期日。本人尋問始まる。
- 1月13日(金) 第21回期日(本人尋問)。
- 1月27日(金) 第22回期日(専門家証人尋問)。
- 2月17日(金) 第23回期日(専門家証人尋問)。
- 2月26日(日) 証人尋問に向けた原告交流会開催(弁護士会館)。原告15名が参加。
- 3月 8日(水) 第24回期日(本人尋問)。
- 3月19日(日)～20日(月) 福島現地学習交流会を開催(福島県郡山市)。福島県と近隣県から原告6名、京都の原告2名、弁護団3名、事務局2名参加。
- 3月20日(月) 生業訴訟団の「結審前夜集会」(福島市で開催)に原告1名、事務局1名が参加。
- 3月24日(金) ひだんれん、全国連の福島県交渉に原告1名が参加。
- 3月29日(水) 第25回期日(本人尋問)。